平成23年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年８月５日

上場会社名	株式会社 フュートレック		上場取引所　東
コード番号	2468		ＵＲＬ　http://www.fuetrek.co.jp
代表者　（役職名）	代表取締役社長	（氏名）藤木　英幸	
問合せ先責任者　（役職名）	取締役管理本部本部長	（氏名）嶋田　和子	（ＴＥＬ）　06-4806-3112
四半期報告書提出予定日	平成22年８月10日		配当支払開始予定日　―

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成23年３月期第１四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第１四半期	577	10.5	88	△53.0	90	△53.2	48	△55.3
22年３月期第１四半期	522	1.7	187	37.2	192	38.5	109	43.2

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年３月期第１四半期	1,051	17	―	
22年３月期第１四半期	4,707	38	―	

平成21年10月１日付にて普通株式１株につき２株の割合をもって株式分割いたしました。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
23年３月期第１四半期	2,560	2,392	91.6	50,356	79
22年３月期	2,786	2,451	86.3	51,649	71

（参考）自己資本　　23年３月期第１四半期　2,344百万円　22年３月期　2,405百万円

２．配当の状況

	年間配当金									
	第１四半期末		第２四半期末		第３四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年３月期	―		0	00	―		2,100	00	2,100	00
23年３月期	―									
23年３月期（予想）			0	00	―		2,100	00	2,100	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第２四半期（累計）	1,000	2.8	150	△41.0	150	△42.4	90	△42.1	1,932	82
通期	2,100	5.2	500	△5.7	500	△7.5	300	△5.0	6,442	75

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、［添付資料］Ｐ．２「その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

新規　　―社　（社名）　　、除外　　―社　（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更：有

②　①以外の変更　　：有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年３月期１Ｑ	47,296株	22年３月期	47,296株
②　期末自己株式数	23年３月期１Ｑ	732株	22年３月期	732株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年３月期１Ｑ	46,564株	22年３月期１Ｑ	23,282株

（注）平成21年10月１日付にて普通株式１株につき２株の割合をもって株式分割いたしました。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 1
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 1
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 1
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．その他の情報 …… 2
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 2
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 2
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 2
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書 …… 4
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 5
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（５）セグメント情報 …… 6
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、海外経済の改善を起点として、企業収益や企業の景況感は引き続き改善しており、個人消費につきましても持ち直しの傾向にあり、景気は緩やかに回復していくものと思われます。

当社グループの主なビジネスマーケットであります携帯電話業界においても、景気の回復に歩調を合わせるように、携帯電話出荷台数は2010年５月度において3,041千台と出荷前年同月比約16.8％増と２ヶ月連続でプラスとなっております。

このような経済環境のもと当社グループにおいては、音声認識・ＵＩソリューション事業分野、音源事業分野を核に積極的なビジネスを展開しました。

当社グループの当第１四半期連結会計期間における業績としましては、売上高は577百万円（前年同期比 10.5％増）、営業利益は88百万円（同 53.0％減）、経常利益は90百万円（同 53.2％減）、四半期純利益は48百万円（同 55.3％減）となりました。

セグメントごとの当第１四半期連結会計期間の業績につきましては、次のとおりです。

当第１四半期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）を適用しております。対前年同期比伸び率は、前年度の数値を同基準に準拠して作成し、前年同期伸び率を算出して記載しております。

セグメントの名称	第10期 第１四半期連結会計期間 （百万円）	第11期 第１四半期連結会計期間 （百万円）	増減 （百万円）
ライセンス	483	525	41
音声認識・ＵＩソリューション	249	343	93
音源	233	181	△52
ライセンス以外	39	52	12
基盤	15	24	8
カード	23	27	4
売上合計	522	577	54

① ライセンス（音声認識・ＵＩソリューション事業分野、音源事業分野）

売上高は525百万円（前年同期比 8.7％増）となりました。

音声認識・ＵＩソリューション事業分野の売上高は343百万円（同 37.6％増）であり、イニシャルフィーによる収入は減少しましたが、カスタマイズ業務、ランニングロイヤルティによる収入が順調に推移したこと、連結子会社である株式会社ＡＴＲ－Ｔｒｅｋが総務省から実施団体として採択を受けた「地域の観光振興に貢献する自動音声翻訳技術の実証実験」研究開発委託が売上に寄与し、売上増となりました。

なお、音声認識事業分野におきましては、この技術の性能向上や新たな発展とＵＩソリューション事業分野との融合による新商品の開発を追及するために、研究開発を強化してまいります。これにともない今期より両事業分野を集約しております。

音源事業分野の売上高は181百万円（同 22.3％減）であり、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモとの音源ＩＰライセンス契約に基づき、同社からロイヤルティ収入を得ており、国内市場においては、一定の売上が確保できる体制となっておりますが、国内市場における音源搭載台数が伸び悩んでおり、売上減となりました。

② ライセンス以外（基盤事業分野、カード事業分野）

売上高は52百万円（前年同期比 32.5％増）となりました。

基盤事業分野の売上高は24百万円（同 56.1％増）であり、カスタマイズ業務等による収入が前第１四半期連結会計期間と比較して順調に推移したことにより売上増となりました。

カード事業分野の売上高は27百万円（同 16.9％増）となりました。英語リスニング模擬試験用メモリーカードの書込みは堅調に推移し、売上増となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ226百万円減少し2,560百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が1,960百万円（前連結会計年度末比178百万円減）、固定資産が599百万円（同48百

万円減）です。
　流動資産の主な減少要因は、売掛金の減少100百万円及び仕掛品の減少106百万円によるものであり、固定資産の主な減少要因は、ソフトウエア46百万円の減少によるものです。
　負債の部では、納税による未払法人税等の減少142百万円等により167百万円（同167百万円減）となりました。
　純資産の部では、配当金支払等による利益剰余金の減少48百万円等により2,392百万円（同58百万円減）となりました。

（連結キャッシュ・フローの状況）
　当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し1,462百万円となりました。
　当第１四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの概況は次のとおりです。
「営業活動によるキャッシュ・フロー」
　営業活動の結果得られた資金は182百万円（前年同四半期は39百万円の獲得）となりました。
　これは、主な増加要因としまして税金等調整前四半期純利益90百万円の計上と非資金費用である減価償却費60百万円、売上債権の減少100百万円及びたな卸資産の減少106百万円によります。減少要因としましては、法人税等の支払149百万円等によるものです。
「投資活動によるキャッシュ・フロー」
　投資活動の結果使用した資金は40百万円（前年同四半期は121百万円の使用）となりました。
これは、主に有形固定資産の取得による支出10百万円、無形固定資産の取得による支出13百万円及び投資有価証券の取得による支出19百万円等によるものです。
「財務活動によるキャッシュ・フロー」
　財務活動の結果使用した資金は89百万円（前年同四半期は50百万円の使用）となりました。
これは、主に配当金の支払（少数株主への配当金を含む）89百万円等によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報
　第１四半期連結業績は、音声認識・ＵＩソリューション事業分野を中心に順調に推移しており、また当社グループの主なビジネスマーケットである携帯電話業界が回復基調にあることから、第２四半期連結累計期間及び通期連結業績の予想につきましては、平成22年５月７日公表の数値から変更はございません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要
該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要
該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要
① 資産除去債務に関する会計基準の適用
　当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。
　この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。
② 表示方法の変更
（四半期連結損益計算書関係）
「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第１四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。
（連結キャッシュ・フロー計算書）
　前第１四半期連結累計期間において区分掲記していた「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「未払金の増減額」は、当第１四半期連結累計期間において、重要性が乏しいため「その他」に含めております。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	462,619	409,904
売掛金	427,741	528,637
有価証券	1,000,000	1,000,000
仕掛品	39,995	146,415
その他	31,547	55,499
貸倒引当金	△1,321	△1,647
流動資産合計	1,960,582	2,138,810
固定資産		
有形固定資産	70,223	69,718
無形固定資産		
のれん	57,523	59,617
ソフトウエア	298,640	345,135
その他	1,718	1,861
無形固定資産合計	357,882	406,614
投資その他の資産	171,745	171,831
固定資産合計	599,851	648,164
資産合計	2,560,434	2,786,974
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,325	72,959
未払法人税等	10,706	153,184
賞与引当金	8,804	35,128
その他	91,576	72,609
流動負債合計	166,412	333,883
固定負債		
リース債務	1,193	1,338
固定負債合計	1,193	1,338
負債合計	167,606	335,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	914,795	914,795
利益剰余金	793,877	842,715
自己株式	△69,963	△69,963
株主資本合計	2,355,278	2,404,116
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,465	900
評価・換算差額等合計	△10,465	900
少数株主持分	48,014	46,735
純資産合計	2,392,828	2,451,753
負債純資産合計	2,560,434	2,786,974

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	522,806	577,545
売上原価	177,449	295,811
売上総利益	345,356	281,734
販売費及び一般管理費	157,359	193,349
営業利益	187,997	88,384
営業外収益		
受取利息	1,227	1,096
受取配当金	－	250
助成金収入	3,300	－
その他	461	458
営業外収益合計	4,988	1,804
営業外費用		
支払利息	16	46
支払手数料	270	－
営業外費用合計	287	46
経常利益	192,699	90,143
特別利益		
貸倒引当金戻入額	－	299
特別利益合計	－	299
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	240
特別損失合計	－	240
税金等調整前四半期純利益	192,699	90,203
法人税、住民税及び事業税	73,048	10,555
法人税等調整額	9,723	26,702
法人税等合計	82,771	37,257
少数株主損益調整前四半期純利益	－	52,945
少数株主利益	330	3,998
四半期純利益	109,597	48,946

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	192,699	90,203
減価償却費	62,123	60,424
のれん償却額	2,093	2,093
貸倒引当金の増減額（△は減少）	221	△326
賞与引当金の増減額（△は減少）	△21,239	△26,324
受取利息及び受取配当金	△1,227	△1,346
支払利息	16	46
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	240
売上債権の増減額（△は増加）	△72,254	100,896
たな卸資産の増減額（△は増加）	△27,676	106,420
仕入債務の増減額（△は減少）	1,308	△17,634
未払金の増減額（△は減少）	1,704	－
その他	24,629	16,045
小計	162,398	330,738
利息及び配当金の受取額	1,205	1,383
利息の支払額	△16	△46
法人税等の支払額	△124,581	△149,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,005	182,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,788	△10,415
無形固定資産の取得による支出	△115,080	△13,318
投資有価証券の取得による支出	－	△19,002
その他	782	2,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,086	△40,558
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△50,099	△86,849
少数株主への配当金の支払額	－	△2,720
その他	△136	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,236	△89,710
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△132,317	52,715
現金及び現金同等物の期首残高	1,423,162	1,409,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,290,844	1,462,619

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕
前第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）
当連結グループは同一セグメントに属するソフトウエア及びＬＳＩの設計開発を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕
前第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）
本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕
前第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）
海外売上高は、連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕
１．報告セグメントの概要
当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。
当社は、本社に技術本部、営業本部、管理本部の事業本部を置き、「ライセンス事業」を中心に事業活動を展開しており、「ライセンス事業」と「ライセンス以外の事業」を報告セグメントとしております。
「ライセンス事業」は、ソフトウエア分野を中心とした製品開発及び研究開発を行い、当社で開発・設計したものを知的財産権化する事業を行っております。
「ライセンス以外の事業」は、教育市場・携帯電話市場に対しコンテンツをメモリーカードに書込むサービスの企画運営を行うカード事業分野及び受託開発と車載用ソフトウエア開発を行う基盤事業分野であります。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
当第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）

（単位：百万円）

	ライセンス	ライセンス以外	合計
売上高			
外部顧客への売上高	525	52	577
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	525	52	577
セグメント利益又は損失（△）	98	△9	88

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）
報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（追加情報）
当第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。